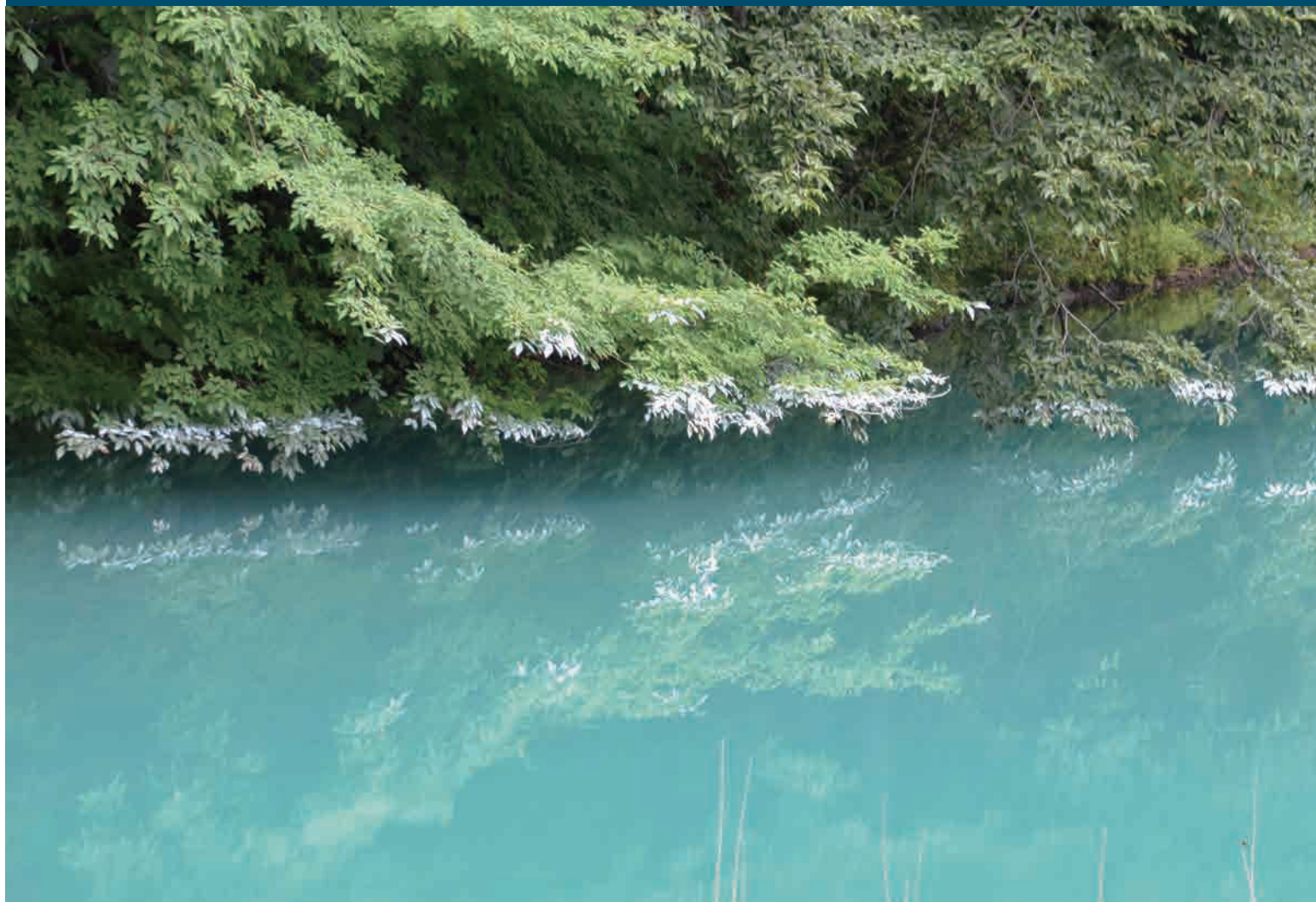




裏磐梯だより

No. 85

2017年7月



▲青沼のまわりの枝葉に付く白い物質

盛夏を迎え、五色沼の各沼では、沼と樹木の「青と緑」の競演が鮮やかさを増してきております。いろいろな自然の驚異と不思議さを与えてくれる五色沼ですが、この時期になると、さらに新たな驚きを与えてくれます。

それは、青沼の水面近くの木々の枝葉が白くなる現象です。この現象は、弁天沼、竜沼などの他の青色系の沼ではあまりみられません。なぜ青沼で特にみられるのかは、正直よくわかっていませんでした。しかし最近、大学の研究により、光の散乱で青沼などを青くみせている、水中に浮遊している微粒子（ケイ酸アルミニウムの結晶の一種で、以前アロフェンだろうといわれていたもの）が、枝が水に触れるたびに付着し、次第に白くなることがわかりました。青沼には、水面すれすれに多くの枝が張り出しているために、この現象が目立って見えるようです。他の沼の一部でも、同様の条件であれば、この現象がみられることもわかりました。多くの五色沼の秘密のうちの一つが解明されました。

夏らしい鮮やかな青と白のコントラストの青沼をはじめ、皆さんもぜひ五色沼散策で夏を感じてください。

キロスズメバチ (ハチ目スズメバチ科)

本州・四国・九州に分布する一般的なスズメバチです。名前の通り、全体的に黄色が目立ちます。攻撃性が非常に強いです。

これが、キロスズメバチの体だ！

頭

複眼の内側は暗色です。大顎でエサを食いちぎったり、近づいてきた敵に向かってカチカチと威嚇音を出したりします。



針

針をもつのはメスだけです。毒液がある限り何度でも刺してきます。毒液を放出したり、毒液のなかの警報フェロモンで仲間を呼びよせたりします。



腹

他のスズメバチに比べ、黄色い部分が多いです。また、全体に毛が生えているのも特徴です。



キロスズメバチの一年

木の枝、屋根裏、軒先などに巣をつくります。巣の大きさは、直径 50 cm を超えるものもあり、大きな巣となります。女王蜂は、5 月ごろから巣づくりや産卵をはじめ、9-10 月に集団は最大となります。10 月ごろになると、新女王たちが羽化しはじめ、やがて巣の外で交尾をし、倒木や朽木のなかで越冬に入ります。旧女王蜂や働き蜂、オス蜂はその年の冬までに死んでしまいます。冬になり、空っぽになった巣は、再び利用されることはありません。

刺されないために…

- ① 巣に近づかない。
 - ② スズメバチが自分のまわりを飛びまわって威嚇しているときは、その場を静かに離れる。
 - ③ 自分の近くに飛んできて、手で払わない。
- ※スズメバチが刺す理由は、自身や巣を守るためです。むやみに刺してくるものではありません。



磐梯山の緑をつくった人たち（緑ふたび）

ひばら
桧原湖岸から見事な稜線を描く磐梯山を望むと、峨々として切り断つ爆裂火口壁の真下から、広大な面積に見事に成長したアカマツの群生がみられる。噴火から十数年経って、政府や県では荒廃したこの地を開拓するにあたり、民間の力と資金を導入しようと計画した。

現喜多方市塩川町の白井徳次は、明治三十五年雄子沢の佐藤栄次郎と共同で、噴火口下の植林計画・方法調書などを県に提出、許可後植林作業を進め、明治四十四年に亡くなったが、その遺志は子から子へと引き継がれている。また、喜多方市の酒造業矢部長吉も、明治三十六年から作業員を雇い、五色沼一帯に、赤松の苗木を植えたが、全財産を使い果たして志半ばで破産した。やむなく、会津若松市の醤油醸造業・遠藤現夢（本名・十次郎）や呉服店主・宮森太左衛門ら五人に権利を譲渡した。現夢は明治四十三年ごろから植林をはじめ、柳沼近くに事務所を兼ねた別荘を建て、旧高遠藩士の林学博士・中村弥六の技術指導を受けた。当初はアカマツ・スギ・ウルシ・カエデやサクラを植えて、事業は十年を費やして大正八年に完了した。

「なぜ木を植えるのか？」と尋ねられた現夢は「俺やお前の時代には役に立たないが、子孫や国家のために役に立つときが来る」と答えたという。また、「弥六沼」の名は、植林の指導を受けた中村弥六博士に感謝し、現夢が名付けたという。

五色沼自然探勝路を歩いていると、この自然を破壊することなく、次代に育て引継ぐことが、我々の使命であることを強く感じないではいられない。



▲五色沼自然探勝路にそびえるアカマツ



ようこそビジターセンターへ

パークボランティアコーナーのご紹介

磐梯朝日国立公園 裏磐梯地区では、現在約30名のパークボランティアの方々が活動されています。「パークボランティア」とは、国立公園において探勝路の巡視活動や外来生物の防除活動などをおこなっている方々のことです。

裏磐梯を愛するパークボランティアの方々に、裏磐梯の自然の魅力や活動の様子などを自由に発信していただく場として、パークボランティアコーナーを開設しました。今現在は、裏磐梯の自然の一コマを収めたとおきの写真やイラストなどの作品が展示してあります。ぜひご覧ください。



▲パークボランティアコーナー



夏休みプログラムのお知らせ

夏休み期間（7月15日～8月31日）は休まず開館。
夏休みだけの特別プログラムを実施します！

わ くわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。

受付時間：10:00～および随時
所要時間：30分程度
参加費：100円（子どもは無料）
定員：10名



五 色沼缶バッチ作り

自分で撮った五色沼の写真を缶バッチにしてみませんか？

受付時間：随時
所要時間：15分程度
参加費：500円



裏 磐梯いきものぬりえ

裏磐梯にくらす生き物のぬり絵にチャレンジ！

受付時間：随時
参加費：無料（500円で缶バッチにもできます！）

五 色沼スライドトーク

磐梯山の噴火と五色沼の成り立ち、裏磐梯の自然の楽しみ方などについて、スライドショーでお話します。

開催曜日：月・水・金・日
時間：14:00～
所要時間：25分程度
参加費：無料 定員：40名



星 空スライドトーク

裏磐梯の星空の写真を使ったスライドショーで、すてきな星の世界へご案内します。

開催曜日：火・木・土
時間：14:00～
所要時間：15分程度
参加費：無料 定員：40名



ビジターセンターの
窓から

弁天沼のベンチで寝転びたい。
（クリリン）
暑い夏は中津川での川遊びがおすす
めです！でも気をつけてね。
（ターサン）
コムラサキ舞う裏磐梯の夏！
（はるるん）
虫たちが元気に活動しています。
（さはらん）

7-8月

ビジターセンター周辺＊いきもの暦



《編集・発行》裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会 2017/7/26 ※裏磐梯だよりの営利目的での使用をお断りします。

定期購読のお知らせ ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚（奇数月発行1年間分）を同封し裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701

開館時間 9:00-17:00 入館無料 休館日 火曜日

TEL 0241-32-2850 FAX 0241-32-2851

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰 1093-697 ※夏休み期間（7月15日～8月31日）は休まず開館 ホームページ <http://www.urabandai-vc.jp>